

おわりに

答申をまとめるにあたって、本審議会では、これからの公民館がどうあるべきか、効率的運営のあり方を検討し、公民館運営の改善を図ること、特に大都市の公民館として、公民館の現状や課題を整理し、今後取り組むべき方向について検討してきた。

公民館が社会変化に対処していくためには、地域の学習拠点として、生活・文化を高め、住民との交流の中から、地域課題を明らかにし、学校や社会教育関係団体等と連携、協調しながら地域課題をテーマとした学級・講座を実施して、課題解決への活動を展開し、地域づくりやまちづくりへ広げていく、公民館の本質を十分確認し、その上に立って、「住民の自主的な学習活動を促進して、失われつつある地域連帯意識と人間性を呼び起こし、明るい家庭、住みよい社会を形成する住民の広場として、公民館の意義があらためて見直されるべきである」と総括して結語とする。